

徳山薬剤師会だより

平成27年
6月
第5号

発行元：(一社)徳山薬剤師会 〒745-0822 周南市孝田町7-1 TEL.0834-39-1105 FAX.0834-39-1106

『かかりつけ薬局』はありますか？

薬薬連携委員会 佐藤 真也（徳山中央病院 薬剤部長）

かかりつけ薬局で薬をもらうメリットとは？

- ◆複数の病院・診療科を受診する際、調剤薬局である地域のかかりつけ薬局をもつことでお薬の重複や飲み合わせを十分確認してもらえる。
- ◆薬歴というカルテのようなものをもとにして、患者様ひとりひとりに合った調剤を検討してもらえる。
- ◆病院では入院患者様優先で調剤されるので外来患者様の薬が出来上がるまで時間がかかるのに対しかかりつけ薬局では事前にFAXなどで情報提供されるため待ち時間を考慮してもらいやすい。
- ◆かかりつけ薬局をつくることで、患者様本人も薬剤師に対して相談しやすい環境ができる。
- ◆医師からの指示・要請で患者様のお宅へ伺うこともあり便利で安心である。などがあげられます。



薬薬連携とは・・・？



病院の薬剤師とかかりつけ薬局の薬剤師が患者様の同意のもと、情報を共有し充実した医療を提供することです。外来受診の際はかかりつけ薬局の薬剤師が薬を管理し、その患者様が入院された際には病院の薬剤師がかかりつけ薬局の薬剤師に情報を提供してもらい薬を管理します。その後、退院され通院されるときは病院の薬剤師からの情報提供を受け、かかりつけ薬局の薬剤師が薬を管理するという薬薬連携を通じて患者様により良い医療を提供できるよう心がけています。

お薬手帳を利用しましょう

患者様により良い医療を提供するために、病院の薬剤師とかかりつけ薬局の薬剤師が利用しているもののひとつに『お薬手帳』があります。お薬手帳は薬の内容を記載するだけでなく、副作用やアレルギー情報などを書き込むことで病院とかかりつけ薬局の両方の薬剤師が同じ情報を得られます。その一例として、今徳山中央病院で力を入れているのが患者様の同意のもと、抗がん剤の治療計画をお薬手帳に添付することです。特殊な飲み方の多い抗がん剤を間違いなく安心して服用していただくために、かかりつけ薬局の薬剤師の協力のもと情報の共有を行っています。

これから益々高齢化する社会において有効で安心できる医療を継続するためには、病院の薬剤師は入院患者様の治療を中心に活動し、かかりつけ薬局の薬剤師は外来の患者様に対して薬や健康の相談役となり信頼されることが必要であり、薬薬連携を通じてより良い医療が提供できると思います。

